

平成23年
 新司法試験
**最新
 合格者
 講義**

OPEN

■本試験の現場で求められているのは、「問いに答える」ことのみ。

未修合格者による未修者のための 合格する未修者答案

 東京本校 10/31(月) **LIVE**
 辰巳各本校 11/5(土)~ **VB**
 通信部 発売開始 11/11(金)

講座仕様

回数 全3回・9時間

科目 公法系・民事系・刑事系

教材

- ・講師作成オリジナルレジュメ
- ・講師作成再現答案
- ・記憶定着ツール作成マニュアル

講師 平成23年新司法試験合格者

平野 裕二 講師

Profile

千葉大学法科大学院(未修コース)修了。未修2年目(平成21年)で、カウント覚悟で旧司法試験を受験するも不合格。法科大学院修了年にあたる平成23年新司法試験にて、見事、新司受験1回目で合格。旧司不合格後、「どの科目でどんな問題が出て合格ライン以上の答案を書く」ことを第一に考え、「問いに正面から答える」ことを強く意識するようになる。新司過去問と出題趣旨を分析して対策した結果、全科目で合格ライン以上の答案を揃えて合格(短答279点、論文公法系102点=1200番台、論文民事系153点=1200番台、論文刑事系111点=800番台、倒産法57点=100番台、論文総合655位、総合評価576位。)

未修者だからこそ活かせる技を身に付けよ

合格の未修者答案とは、未修者にとって最適な、未修者だからこそ身に付く合格答案のスタイルです。それは端的に言えば、素直に問いに答えるシンプルな答案です。

新司法試験で求められるのは、自分が覚えてきた知識を披露する答案ではなく、出題意図に誠実に答える姿勢です。たとえ知識的に足りない点が多々あっても、問いを理解し、問いに答える姿勢が示し、自分なりに考えて結論を導いていけば、合格点がつきまします。この答案スタイルは、知識があるが故に「ああ、あの論点を書くのね」と判断しがちな既修者に比べ、知識が不足しがちだからこそ素直に考えられる(そうせざるを得ない)未修者だからこそ身に付きやすいのです。未修者は、いたずらに知識を増やしたり論証例を用意するよりも、答えるべき「問い」を間違いなく発見するノウハウこそ集中して磨くべきですし、問いに素直に答える書き方を身に付けるべきです。

未修者のための最適な知識の押さえ方

知識に頼るやり方は、用意した知識が本試験で出れば書けますが、出なければ書けません。そんな綱渡りな戦い方はやめ、どんな問題が出てでも素直に問いに答える書き方を身に付けて勝負する方法を身に付けませんか。もちろん、絶対に外せない最低限押さえるべき知識は必要です。その最低限が何か、そしてその効率的な教え方についても、未修者に最適なやり方を伝授したいと思います。

●講師メッセージ

本試験の現場で求められているのは、「問いに答える」こと、それだけです。「問い」すなわち「何が問われているのか」をしっかり認識すれば、正しく「答える」ことができます。そして、過去問及び出題趣旨の分析から、本試験で「問われていること」は大体決まっています。逆に言えば、「答えるべきこと」が決まっています。ならば、それを明確に意識して本番に臨みませんか。

例えば、憲法では、「憲法上の主張内容を書きなさい。」「憲法上の主張に関するあなた自身の見解を、反論を想定しつつ、述べなさい」という設問が一般的です。シンプルな設問ですが、いかなる枠組みで論ずるか、いかなる事項について論ずるか、いかなる視点で論ずるか等々、実は、真に「問われていること」は毎年一貫しています。要はそれを認識して、意図的に書く枠組み、事項、視点等を決めてしまえばよいのです。そうすれば、常に、出題者の意図からズレない合格ライン以上の答案が書けるようになります。

その方法論と実践を、平成23年の本試験問題を用いて示したいと思います。

「民訴があんな問題でなければ合格だったのに…」、「刑訴であれさえ書いてたら…」。問題によって合否が分かれるような、そんな綱渡り的なことは終わりにしませんか。本講義を聴いて、たとえばどんな問題が出て合格ライン以上の答案を書けるようになっていただきたいと思います。

●スケジュール

東京本校	辰巳各本校		通信部
LIVE	VBアース		発送日
	時間割	利用開始	以降随時
10/31(月)	10:00-13:10 14:00-17:10	11/5(土)	12/5(月)
11/1(火)	10:00-13:10		11/11(金)

※辰巳各本校...東京・横浜・大阪・京都・名古屋・福岡本校

●受講料(税込)

通学部		通信部	
講座コード	辰巳価格	代理店価格	DVDコード
11NA4*	¥16,000	¥15,200	R-298R
			R-298M
			R-298
			¥17,600
			¥16,720

※注1 通学部は、受講会場(東京校・大阪校など)を申込段階でお選びいただけます。

※注2 通信部は、媒体の別(DVD又はカセットテープ又はMD)をお選びいただけます。

MDはMDLP対応機種のみ、DVDはDVD-R対応機種でのみご利用いただけます。ご自身のプレーヤーをご確認のうえお申し込み下さい。

※注3 注1での選択を、上記受講料表中の「講座コード」の「*」の箇所以下記表の会場コードによって記入して下さい。

例) 東京校でLIVE又はVideoBoothで受講の場合→「講座コード11●●●*」の「*」に「H」を当てはめ→「11●●●H」

講座コードの「*」に当てはめる。通学部の会場選択・通信部の媒体選択の記号一覧表

通学 東京校はH	通学 横浜校はY	通学 大阪校はK	通学 京都校はM	通学 名古屋校はN
通学 福岡校はF	通学 宇都宮校はU	通学 岡山校はL	通学 高松校はA	通学 鹿児島校はZ

辰巳法律研究所
<http://www.tatsumi.co.jp/>

 東京本校 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6
 横浜本校 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F
 大阪本校 〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 3F
 京都本校 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町 670 京都フクトクビル 6F
 名古屋本校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-26-22 名駅ビル 3F
 福岡本校 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-17 西日本ビル 8F

 TEL 03-3360-3371 (代表)
 TEL 045-410-0690 (代表)
 TEL 06-6311-0400 (代表)
 TEL 075-254-8066 (代表)
 TEL 052-588-3941 (代表)
 TEL 092-726-5040 (代表)